

認知症に関する活動計画（概要）

和歌山県士会は認知症支援委員会を設置し、現在8名の委員で活動している。

2021年度は、「認知症アップデート研修」をオンラインにて2回行い合計48名の参加を得た。2022年度は、「認知症ケアに携わる専門職のリハビリテーション研修会」を企画し、オンラインにて開催中である（下図）。本研修は、認知症支援における「普及啓発」を目的とし、作業療法士のみならず他の専門職、自治体職員等も参加できる内容としている。現在第二回目までが終了し延べ332名の参加を得た。これに加え、今年度は「認知症作業療法マニュアル」を作成し、各自治体への広報資料を作成する予定である。

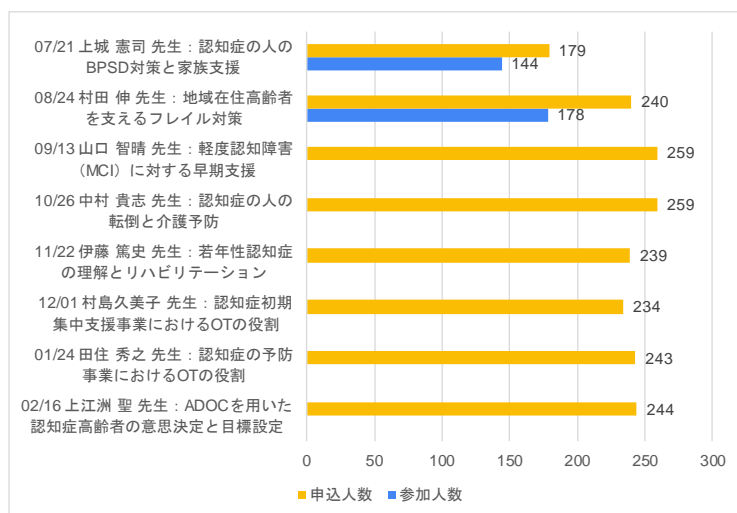


図 認知症ケアに携わる専門職のリハビリテーション研修会概要

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

2021年度は、オレンジライトアップに県士会員を1名派遣した。2022年度は、JR和歌山駅前での街頭活動に県士会員を5名、アルツハイマーデー記念講演にも県士会員を複数名派遣予定である。



認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会和歌山県支部には県士会員が3名世話人として所属しており、定例会や各啓発事業等の運営協力を行なっている。2021年度は、若年性認知症相談業務に県士会員を1名（2回）派遣した。2022年度も、同相談業務に県士会員を1名（2回）派遣した。

介護予防・日常生活支援総合事業

2021年度は、「認知症カフェ」に3名（5回）、「介護予防サロン」に1名（2回）、「認知症予防教室」に2名（1回）、認知症サポーター養成講座に1名（3回）、県士会員を派遣した。2022年度は、認知症サポーター養成講座に2名（3回）、県の認知症予防施策に2名（4回）、県士会員を派遣した。